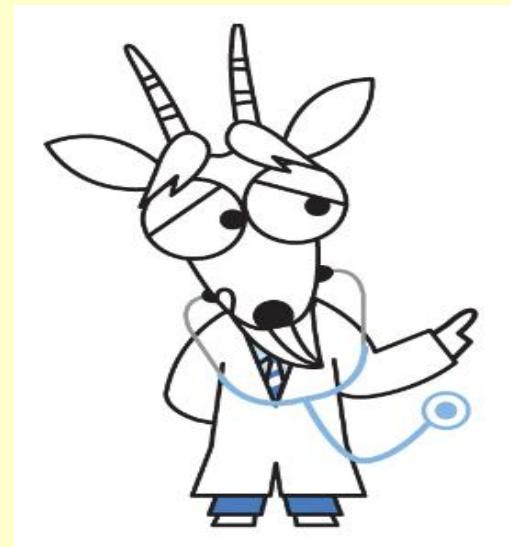


痙攣とてんかん

同じではないことに注意

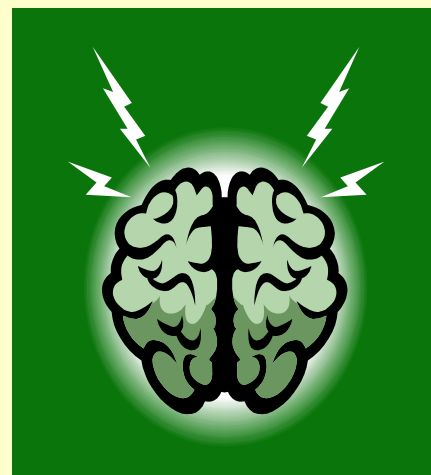


1. 痙攣とは症状

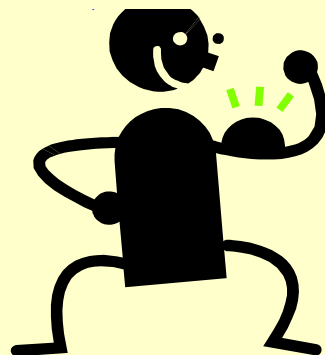
2. てんかんとは病名



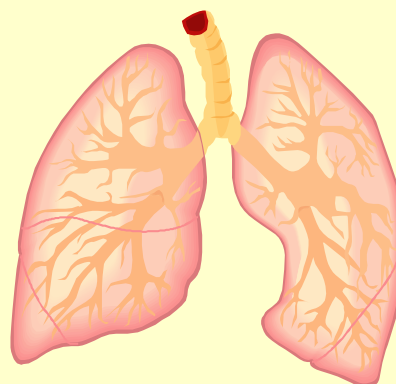
痙攣時に緊急性が必要な理由



脳の異常興奮

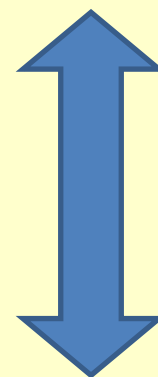


骨格筋の連続収縮



呼吸抑制

酸素の重要



酸素の供給

痙攣時の最初の対応は 患者さんの安全確保

- ✓ 転倒・転落・外傷を防ぐことが大事
- ✓ 必ず応援を呼ぶ
- ✓ 患者さんから離れない こと





痙攣の観察

- 気道の確保、嘔吐時の対処
- 痙攣前に感じる前兆
- 全身性か局所性
- 持続時間
- 特徴的な症状



痙攣時の気道確保

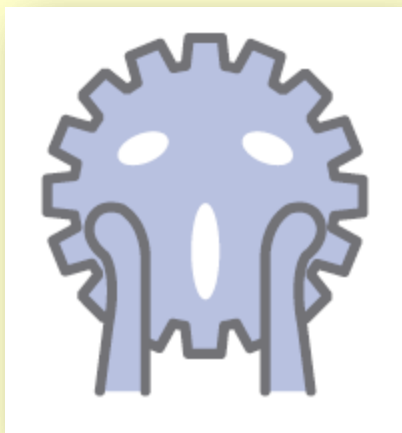
- ① 顔を横に向けた気道確保
- ② 唾液・嘔吐の誤嚥予防
- ③ 口腔内に物をいれることは、
窒息や誤嚥のリスクが高くなる



痙攣が発生する前に感じる前兆

**前兆：発作が起きる前の
数秒～数分前におきる症状。**

**例：耳鳴りがする
見え方がおかしい
手足が痺れる**



痙攣の部位

全身性

強直性



or

間代性



局所性

始まった部位&広がれ方





持続時間

- ☑通常痙攣は2分を超えることは少なく
⇒長くても**5分以内**

けいれん重積発作

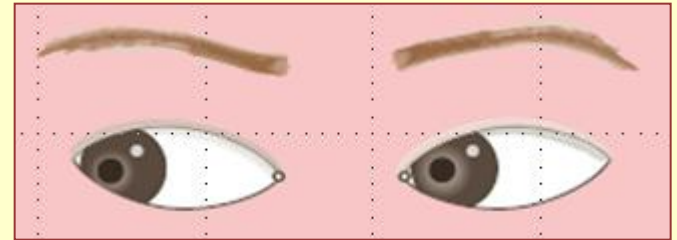
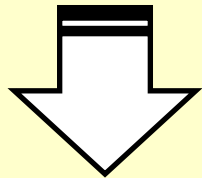
けいれん発作が重なる

- ✓一日2回以上
- ✓5分以上持続する痙攣

生命の危険

特徴的な症状

眼球・頭部の偏位



責任病巣がわかることも！！

例：左側頭葉の脳腫瘍により痙攣
⇒眼球・頭部は右に偏位



痙攣の観察

- 気道の確保、嘔吐時の対処
- 痙攣前に感じる前兆
- 全身性か局所性
- 持続時間
- 特徴的な症状